

項目	説明	
試料・情報の利用 目的 及び 利用方法	研究課題名	デンバーシャントにおいて静脈カテーテル閉塞の原因についての検討
	研究対象者	神奈川県立がんセンターで 2018 年 7 月から 2024 年 5 月までの期間にデンバーシャント造設術を施行された患者さんを対象とします。
	研究目的	デンバーシャントの閉塞の原因として、静脈カテーテルの先端位置や手術部位（左右）が関係しているか検討します。
	研究方法	術後のレントゲンで、カテーテル先端位置と気管分岐部との距離を測定し、閉塞群と非閉塞群に差があるかを検討します。また、右側に造設した場合と左側に造設した場合とで、閉塞頻度に差があるかを検討します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 4 年 1 1 月 2 5 日 ～ 西 暦 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[レ]総長が研究実施を許可した日 [ ] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[ ] 試料:	[ ] 血漿、[ ] 血清、[ ] 全血、[ ] 末梢血から抽出した DNA、 [ ] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [ ] 尿、[ ] 糞便、[ ] 唾液、[ ] 胸水、[ ] 腹水、[ ] 脳脊髄液、 [ ] 毛髪、[ ] その他(具体的に記載: _____)
	[レ] 情報:	[レ] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[レ] 年齢、[ ] 生年月日、[レ] 性別、[レ] 既往歴、[レ] 併存疾患、[ ] 外来日・入院日・退院日、[レ] 臨床検査値、[レ] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[レ] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[ ] ゲノムデータ、[ ] 看護記録、[ ] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター 研究責任者	所属・氏名 放射線診断・IVR 科 望月春海
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター放射線診断・IVR 科、望月春海 0 4 5 - 5 2 0 - 2 2 2 2 利用停止のお申し出は 2025 年 01 月 31 日迄にお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	